

# 富士のさと イングリッシュキャンプ

令和4年9月17日(土)～9月19日(月・祝) 2泊3日

## ○目的

外国人(海兵隊員)とともに、体験活動を通して英語に触れる機会を設ける。また、日常では体験できないような「米国文化」に触れたり、外国と日本の文化の違いを理解したりすることにより、外国人と交流することの楽しさに気付くことを期待している。また、英語で表現することを通して、自信や自己肯定感を高めることを目的とする。

## ○参加者

小学5・6年生 20名(男子:11名、女子:9名)

## ○本事業の特徴

キャンプ富士(米軍海兵隊諸職種共同訓練センター)と連携し、3日間通して海兵隊員(延べ45人)とともに活動する。

## ○事業の内容

### ★1日目:3日間過ごす仲間を知り、チーム作りをしよう!!

#### (1) アイスブレイク(交流ゲーム)

英語を使って自己紹介をしたり、グループで協力するゲームをしたりして、緊張を解し、キャンプの仲間を知ることができた。

#### (2) 交流タイム

海兵隊員が考えた旗取りをしたり、ボールを使って遊んだりして交流を深めることができた。

#### (3) テント泊準備

2日間泊まるテント内の準備を行った。異なる班の子供たちを同じテントにし、他グループとの交流もできるように配置した。

#### (4) 野外炊事(BBQ)

火や刃物に対する事前指導を行い、野外調理の危険についても伝える場となった。また、グループ内で役割分担をし、片付けまでスムーズに行うことができた。

### ★2日目:仲間と協力して、いろいろなことに挑戦しよう!!

#### (1) キャンプ富士施設見学

消防署や車両基地などの見学のほか、レストランでのランチの注文やドル貨幣を使っての買い物などを自分自身で体験した。



野外炊事



ランチの注文



交流ゲーム

## (2) キャンドルサービス

班リーダー中心に企画し、班リーダーと海兵隊員の出し物を行った後、“country road”を歌った。キャンプ最終日の夜をキャンプの仲間たちで楽しく過ごすことができた。

### ★3日目：一緒に過ごした仲間と思い出を分かち合おう！！

#### (1) オリエンテーリング&フォトフレーム作り

海兵隊員が英語で指示を出し、子供たちは5つのポイントを巡るオリエンテーリングを実施した。その後、自分だけのオリジナルフォトフレーム作りを行い、グループメンバーでサインを書き合う姿も見られた。

#### (2) 思い出タイム

3日間の感想を一人一人英語で発表した。発表の前には、海兵隊員に英語の文章作りや発音の仕方を学んだ。



キャンドルサービス



オリエンテーリング&フォトフレーム作り



思い出タイム

#### ○参加者の声（事後アンケートより）

- ◆ 外国人と恥ずかしがらずに話すことができた。
- ◆ 単語や少し難しい英語を聞き取ってコミュニケーションを深めることができた。
- ◆ 野外炊事や交流ゲームを班の仲間と協力して楽しむことができた。

#### ○アンケート結果の考察

事前と事後によるアンケートから、「外国語によるコミュニケーション能力を向上させたい」「自分の可能性を広げたい」「いろいろな国に行ってみたい」の項目で向上が見られた。3日間を通じて、英語で話したり、何とかして伝えたりすることで、「やってみた」「できた」を感じとることができ、その結果、外国語への興味・関心が深まったことがうかがえる。

#### ○成果・課題

○参加者には、目標や約束、日程などを記載した「マイノート」をキャンプの最初に配布した。また、夜のナイトタイムでは30分間を確保し、班毎に今日自分ができたこと、明日頑張ることをノートに書き、それらを言葉にしてグループ間で共有した。「明日はもっと積極的に話そう」「ジェスチャーで伝わって嬉しかった」という声が聞かれ、自分たちで意欲をもって取り組んでいた。

○2カ月前より担当スタッフで打ち合わせを行い、組織キャンプとして役割分担などを明確にし、スケジュール通りに準備を進めることができた。また、ボランティアにも事前研修を行い、キャンプの概要やプログラム構成などを伝えることができ、意思疎通を図ることができた。

●例年、近隣の小学校へのチラシを配布し、定員を大きく超える募集があり、多くの件数を断わっていた。そのため、今年度はホームページやSNSのみで参加者を募集することを試行した。その結果として、県外からの応募が多くあったが、募集定員を超えることができなかった。次年度に向けて効果的に広報ができるように検討したい。